

1. 科目名（単位数）	精神保健福祉の原理（4 単位）	3. 科目番号	SCMP2126
2. 授業担当教員	山口 大輔		SPMP2426
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	障害者福祉の思想と原理、理念、また歴史的展開を理解したうえで、現代の「障害」や「障害者」に関する概念について学ぶ。また、諸外国の動向を踏まえ、日本の障害に関する現状や課題、精神科医療の特異性を学習する。さらには現代社会にあつて、精神保健福祉士が有すべき原理や価値、理解しておくべき根拠法（精神保健福祉士法）や倫理綱領、職域と業務内容について考究する。		
8. 学習目標	①「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。 ②精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 ③精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 ④精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 ⑤現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。 ⑥精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。 ⑦近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。		
9. アサシメント （宿題）及びレポート課題	1，精神保健福祉士の価値と原理、視点と観点から学んだ概念をそれぞれから1つ選び、具体的事例を用いて、自身の言葉で説明をする。 2，精神保健福祉士の職業倫理について、説明し精神保健福祉士の役割を論じる。 ＊提出日等詳細は授業時に説明をする。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理』中央法規、2021		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 7つの学習目標について理解し、説明することができたか。（知識・理解） 7つの学習目標について思考し、考察を深めることができたか。（思考・判断・実践） 7つの学習目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。（関心・意欲・態度） ○評定の方法 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 課題提出・発表 総合点の30％ 3 期末試験 総合点の40％		
12. 受講生への メッセージ	本授業はそのタイトル通り、精神保健福祉士を目指す者にとって、根幹となる「原理」を学びます。将来精神保健福祉士を目指すという高い意識を持ち、積極的な態度で授業に臨むだけでなく、ディスカッションにおいては自分の行動が周囲にどう影響するのかと言ったことなど他者とのかかわりにおける専門職を目指す自己の責任も十分に考えるようにしてください。		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	本授業の目的、達成すべき課題を理解する	事前学習	シラバスを事前に確認しておく
		事後学習	本授業で達成する自分なりの目標を書き出す
第2回	精神保健福祉原理とは何か：本科目の学びのポイントと障害のある方とのとらえ方、精神保健福祉士の役割を理解する	事前学習	教科書序章を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第3回	障害の捉え方：障害の捉え方の変遷を理解する、社会防衛思想から基本的人権の保障へ	事前学習	教科書第1章、第1項「障害の捉え方」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第4回	障害者福祉の理念：優性思想の考え方からノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンへ、障害者福祉の理念（リハビリテーション、ノーマライゼーション、エンパワメント、自立生活、機会均等、インクルージョンを理解する	事前学習	教科書第1章、第1項「障害者福祉の理念」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第5回	精神障害者福祉の歴史的展開1：明治以降の日本における精神障害者福祉の歴史的展開を知る	事前学習	教科書第2節「精神障害者福祉の歴史的展開」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第6回	精神障害者福祉の歴史的展開2：障害者自立支援法以降の自立支援・社会参加支援の動向、障害者としての権利保障を理解する	事前学習	教科書第2節「精神障害者福祉の歴史的展開」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる

第 7 回	精神障害と精神障害者の概念 1：制度・法律における精神障害者の概念を知る	事前学習	教科書第 2 章第 1 節「制度における『精神障害者』の定義」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 8 回	精神障害と精神障害者の概念 2：国際生活機能分類（ICF）の概要と生活を構成する諸要素、それら関連性を理解する	事前学習	教科書第 2 章第 2 節「国際生活機能分類（ICF）と精神障害」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 9 回	精神障害と障害者の概念 3：上田モデル、蜂矢モデルを学び、精神障害を構造的に理解する	事前学習	教科書第 2 章第 3 節「精神障害の『障害特性』」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 10 回	精神障害と障害者の概念 4：ナラティブアプローチ、自助グループ・当事者研究を理解する	事前学習	教科書第 2 章第 4 節「精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 11 回	精神障害と障害の概念 5：オープンダイアログ、認知症の人の語りなど支援にかかわる新たな潮流を理解する	事前学習	教科書第 2 章第 4 節「精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 12 回	社会的排除と社会的障壁 1：ピネルやピアーズ、バザリアなど諸外国における排除の歴史を学び、国連原則を基に現在の状況を理解する	事前学習	教科書第 3 章第 1 節「諸外国における排除の歴史と今後の展開」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 13 回	社会的排除と社会的障壁 2：相馬事件から相模原事件など精神障害者に係る施策の動向に影響を与えた各種事件を知る	事前学習	教科書第 3 章第 2 節「日本における排除の歴史と構造」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 14 回	社会的排除と社会的障壁 3：欠格条項、強制不妊手術、アルコール・薬物問題の取締法と刑罰の優先など日本の社会的障壁を知る	事前学習	教科書第 3 章第 3 節「日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 15 回	社会的排除と社会的障壁 4：自己責任論と受療への障壁、自身の中にある差別・偏見と向き合い、精神障害者の排除と障壁に対する精神保健福祉士の課題を理解する	事前学習	教科書第 3 章第 3 節「日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取り組み」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 16 回	精神障害者の生活特性 1：強制入院・治療や精神科特例など精神科医療の特異性と生活への影響を理解する	事前学習	教科書第 4 章第 1 節「精神科医療による生活への影響」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 17 回	精神障害者の生活特性 2：保護義務者の歴史など日本の精神保健福祉施策における精神障害者家族の位置づけを理解し、家族の多様性とその生活実態を基に精神保健福祉士として必要な家族支援の視点を学ぶ	事前学習	教科書第 4 章第 2 節「精神障害者の家族が置かれている状況」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 18 回	精神障害者の生活特性 3：精神障害者の居住形態や生活保障の状況、就労状況を理解する	事前学習	教科書第 4 章第 3 節「精神障害者の社会生活の実際」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 19 回	精神障害者の生活特性 4：メンタルヘルス課題の発生につながる「場」や「状況」を理解し、新たなメンタルヘルス課題とそれへの対応の要点を理解する	事前学習	教科書第 4 章第 4 節「メンタルヘルスをめぐる新たな課題」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 20 回	精神保健福祉士の資格化の経緯：精神医学ソーシャルワーカー協会の設立から、Y 問題の意義、倫理綱領規定の経緯と資格化までの経緯を理解する	事前学習	教科書第 5 章第 1 節「精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 21 回	精神保健福祉の原理と理念 1：精神保健福祉士による実践の価値・原理（社会的復権と権利擁護、自己決定、当事者主体）を理解する。	事前学習	教科書第 5 章第 2 節「精神保健福祉士による実践の価値・原理」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 22 回	精神保健福祉の原理と理念 2：精神保健福祉士による実践の価値・原理（社会正義、ごく当たり前の生活）を理解する	事前学習	教科書第 5 章第 2 節「精神保健福祉士による実践の価値・原理」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 23 回	精神保健福祉の原理と理念 3：精神保健福祉士による実践視野・視点（人と環境の相互作用、生活者、エンパワメント）を理解する	事前学習	教科書第 5 章第 3 節「精神保健福祉士による実践の視野や視点」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 24 回	精神保健福祉の原理と理念 4：精神保健福祉士による実践視野・視点（リカバリー、アンチスティグマ、ハームリダクション）を理解する	事前学習	教科書第 5 章第 3 節「精神保健福祉士による実践の視野や視点」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 25 回	精神保健福祉の原理と理念 5：援助における関係性の特性（加害者性、援助関係、間主観（相互主体性）、協働関係）を理解する	事前学習	教科書第 5 章第 4 節「援助における関係性」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 26 回	精神保健福祉士の役割と機能 1：精神保健福祉士法について理解する	事前学習	教科書第 6 章第 1 節「精神保健福祉士法の理解」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 27 回	精神保健福祉士の役割と機能 2：精神保健福祉士の職業倫理（倫理綱領）、倫理的ジレンマを学ぶ	事前学習	教科書第 6 章第 2 節「精神保健福祉士の職業倫理」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる

第 2 8 回	精神保健福祉士の役割と機能 3：精神保健福祉士の業務特性を理解し、業務指針の意義を学ぶ。	事前学習	教科書第 6 章第 3 節「精神保健福祉士の業務特性と業務指針」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 2 9 回	精神保健福祉士の役割と機能 4：精神保健福祉士の職場と各職場の特性を理解する。	事前学習	教科書第 6 章第 4 節「精神保健福祉士の職場・職域」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第 3 0 回	まとめ、精神保健福祉士の業務内容とその特性を学び、業務に含まれる精神保健福祉士の専門性、包括的視点について理解する	事前学習	教科書第 6 章第 5 節「精神保健福祉士の業務内容とその特性」を読む
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
期末試験			